

今冬の豪雪災害における市議会の対応

総務経済建設常任委員会 現地視察（2月6日および2月27日）

総務経済建設常任委員会は2月に2度、市内のリンゴ園地や農業用ハウスなどの雪害状況を確認するため、担当部局の職員とともに現地視察を行いました。

リンゴ樹の枝折れ等については、現時点で大きな被害は確認されていないとの説明を受けて安堵した一方、倒壊した農業用ハウスの被害状況を目の当たりにし、全委員が早急に農家への支援策を打ち出すべきだという意見で一致しました。



視察風景（2月6日、柏地区）



倒壊したビニールハウス
（2月6日撮影、森田地区）



視察風景（2月27日、稲垣地区）

市長に農家支援を要望（3月9日）

現地視察の結果を踏まえ、木村^{きむら よしひろ}良博議長、田中^{たなか とおる}透 総務経済建設常任委員長、佐々木^{ささき けいぞう}敬藏副委員長長の3名で、被災した農業用施設の復旧支援等を求める要望書を倉光^{くらみつ ひろあき}弘昭市長に提出しました。

木村議長らは、「市の財政が厳しいのは重々承知しているが、基幹産業である農業を将来に引き継ぐためには市の支援が必要。早急をお願いしたい」と要望しました。

倉光市長からは、「農家の苦しみは、わが事のようにとの思いで市政運営してきた。制度設計はこれからだが、県の補助事業の動向とバランスを取りながら早急に予算措置を進めたい」と回答がありました。

【要望書の内容】

1 被災ハウスの撤去・処分に対する支援

倒壊したハウスの解体撤去費用および廃棄物処理手数料の支援をすること。

2 施設再建・修繕に対する強力な支援

県の被災農業者向けの支援事業の活用に加え、市独自の上乘せ補助や要件を緩和した単独補助事業の創設をすること。



要望書を渡す木村議長（左から2番目）



要望書手交

左から倉光市長、木村議長、
田中委員長、佐々木副委員長